

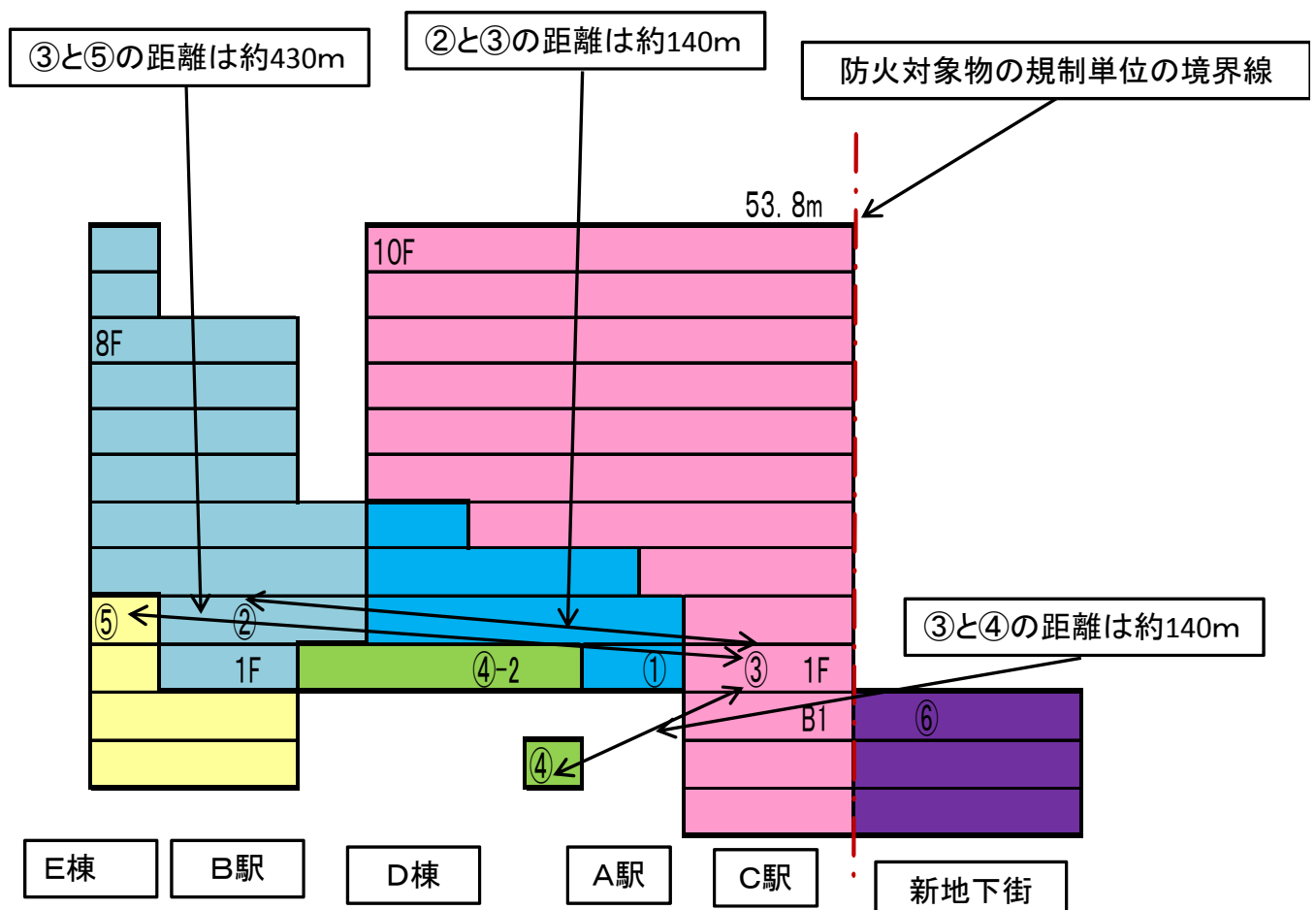
Dビルの実態について

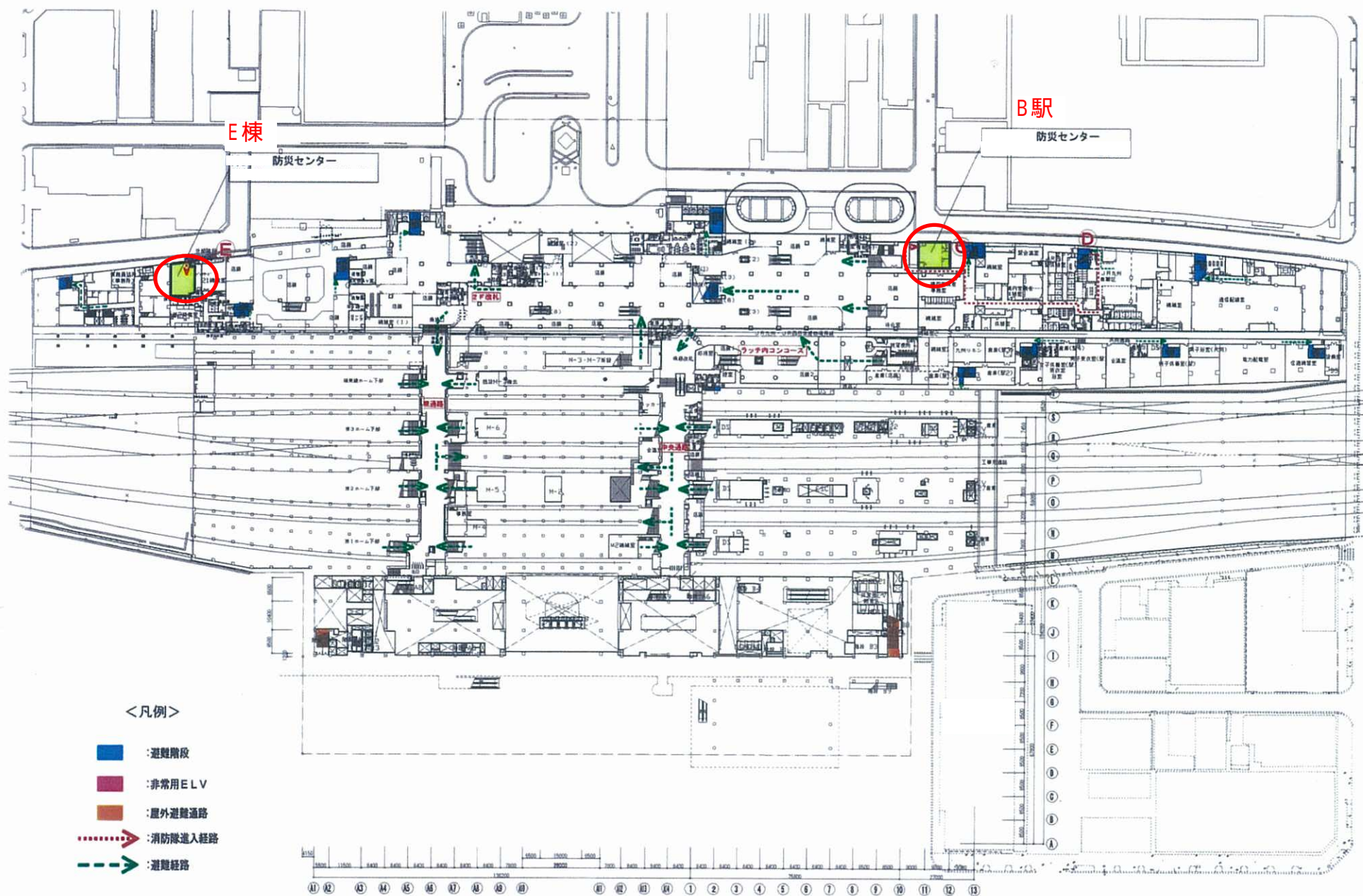
管理権原区分

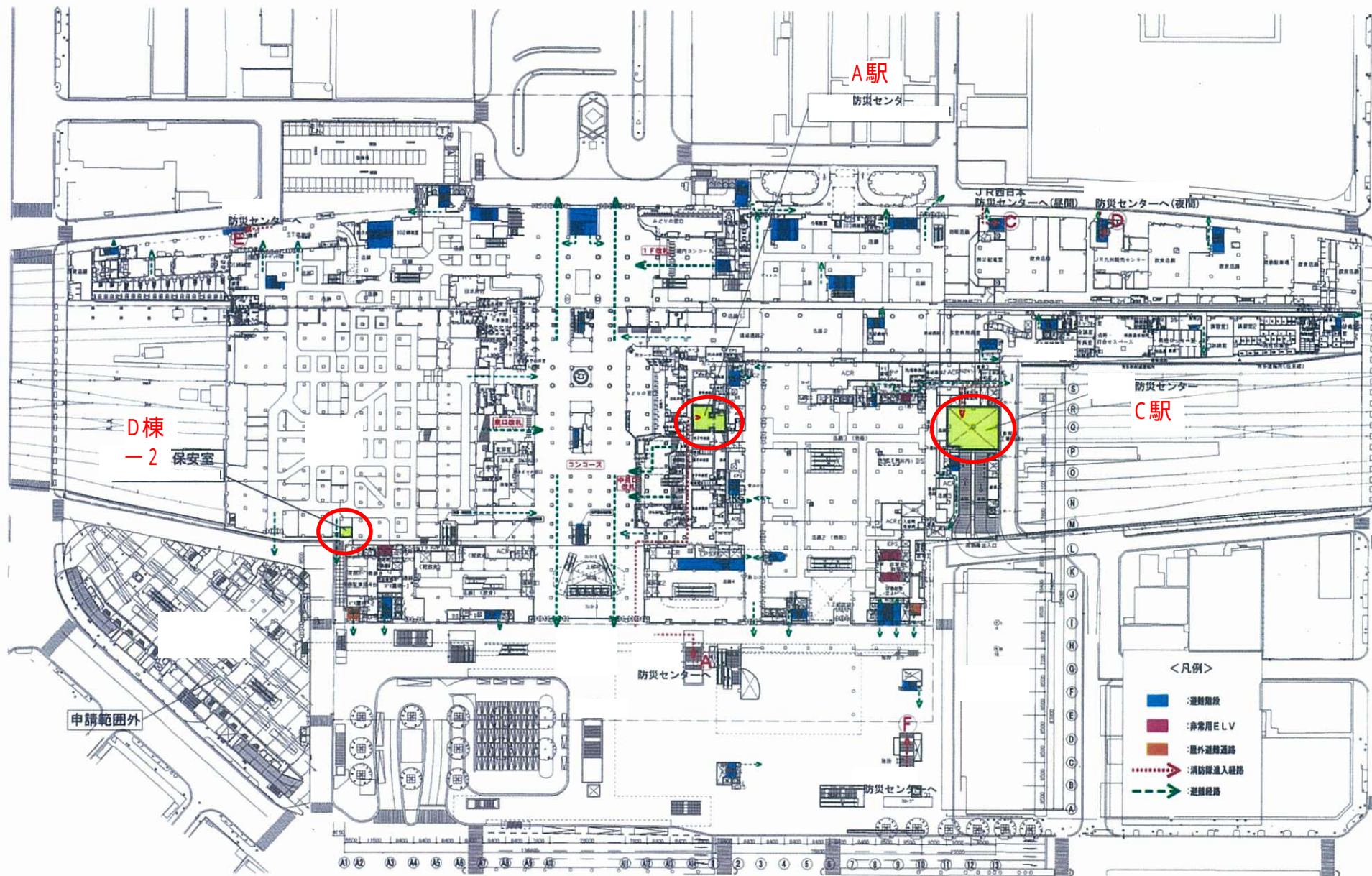
- A駅
- B駅
- Cビル
- Dビル
- Eビル
- 新地下街(別の防火対象物)

- ・ 敷地内のA棟からE棟は1つの防火対象物。
- ・ AからEの5つの所有管理区分ごとに消防用設備等を設置。
- ・ 地階で新地下街と接続。

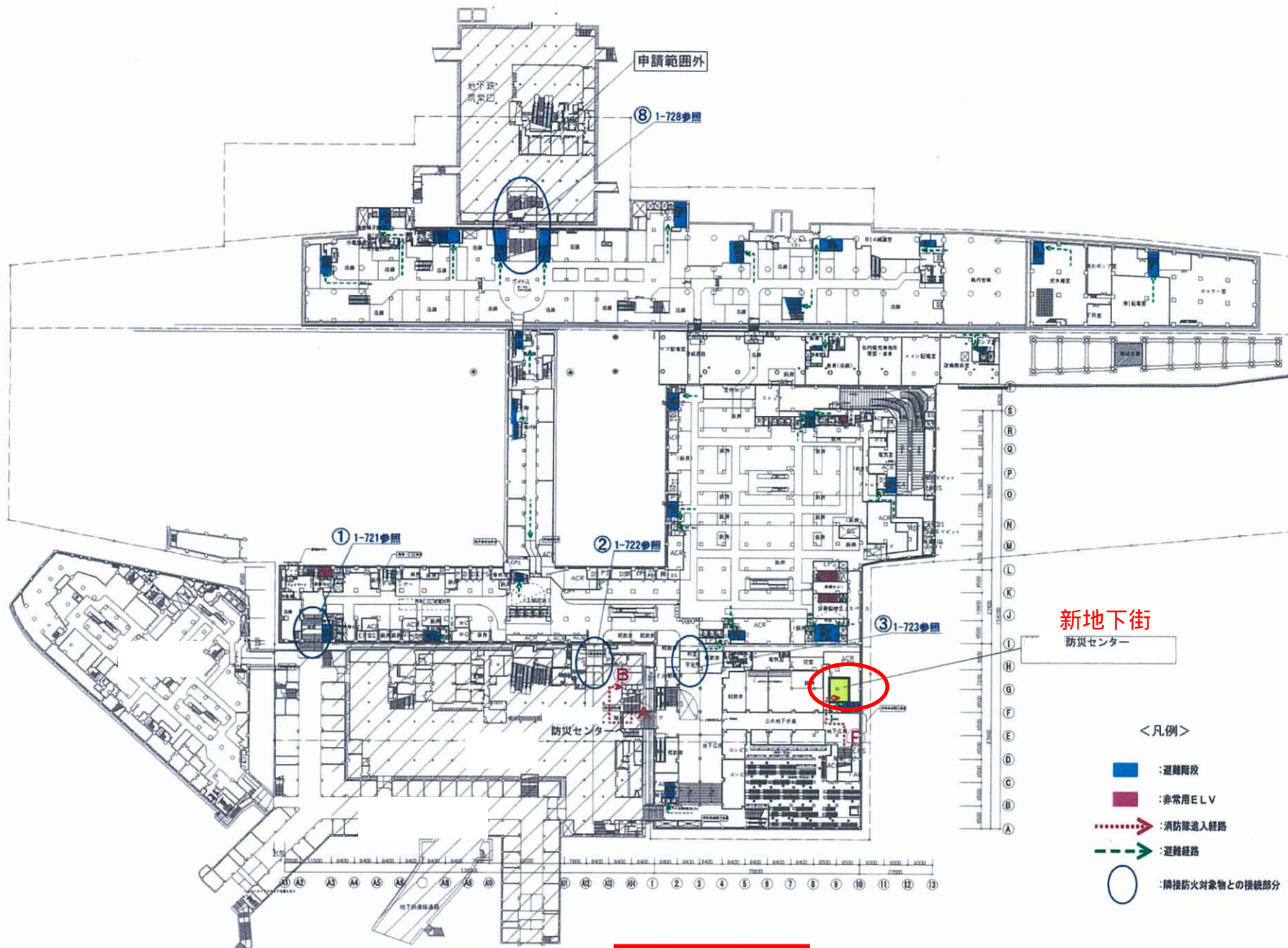
- ① A駅防災センター(A駅1階、A駅専用)
- ② B駅防災センター(B駅2階、B駅専用)
- ③ Cビル防災センター(Cビル1階、日常はCビル専用、非常時は全体統括。)
- ④ Dビル防災センター(Dビル地下2階、Dビル専用)
- ④-2 Dビル保安室(Dビル1階、Dビル専用)
- ⑤ Eビル防災センター(Eビル2階、Eビル専用)
- ⑥ 新地下街防災センター(新地下街地下1階、新地下街専用)



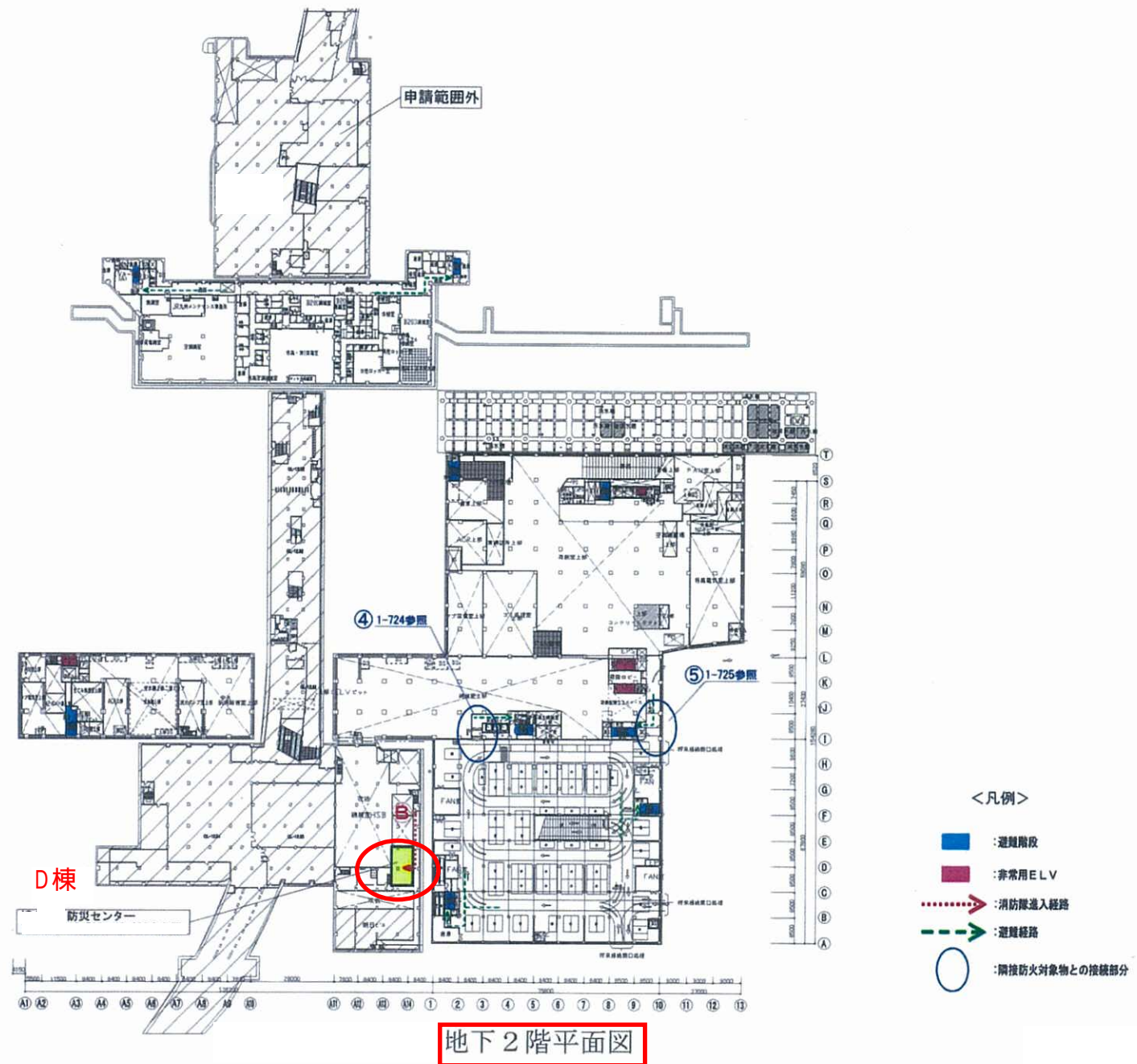




1 階平面図



地下1階平面図



Eビルの実態について

管理権原区分

■	A棟 物販、飲食
■	B棟 物販、飲食
■	B棟 シネコン
■	B棟 ギャラリー
■	B棟 駅施設、コンコース
■	C棟 物販
■	C棟 ホテル
■	C棟 事務室
■	C棟 展望室
■	全体共用部 駐車場
■	全体共用部 機械室

- ・ 非常放送、誘導灯は防災設備の連動制御範囲。
- ・ 地階で地下街と緩衝帯接続。

- ① 防災センター(C棟1階 全体監視)
- ② サブ防災センター(A棟地下1階、A棟専用)

自衛消防活動については、今後調査する。

